



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

知らないで損する工場メンテのツボ

壁のメンテナンス(前編)

第六回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。第六回目となる今回は“壁のメンテナンス”をテーマにお届けします。

●工場の壁に使用される塗料

工場の壁に使用される塗料には、一般的にアクリル系、ウレタン系、シリコン系、フッ素系の4種類があります。最も安価なアクリル系塗料では通常耐用年数が3～5年となっており、最も高価なフッ素系は耐用年数が10～15年となっています。

しかし、ベトナムでは、壁の塗装が実質1年しかもたないため、高価なフッ素系塗料は殆ど使用されておらず、殆どがアクリル系塗料を使用しています。

では、耐用年数がアクリル系塗料でも3～5年、フッ素系塗料であれば10～15年あるにも拘らず、なぜ1年しかもたないという事になるのでしょうか？

●塗装が長持ちしない？

外壁の塗装を1年で塗り替える必要がある、最もよくある理由は、実は壁が汚れて見た目が汚くなるからなんです。塗装された塗料自体は、1年後でも基本的な効果は持続

していますが、汚れが付着し全体的に黒ずんだり、雨垂れの跡が黒い筋として何本も付着したりすると、折角高価な塗料を使用して塗装した壁を再度塗りなおさなければならぬことになりかねません。

その為、ベトナムでは、何度も何度も壁の塗装を繰り返すことが多くなるのです。

●なぜ外壁が汚れてしまうのか？

では、なぜ壁が汚れてしまうのでしょうか？その答えは実は水にあります。雨が降らない間に壁の上部の地面と平行な部分に埃等の汚れがたまって行きます。それが雨で壁を伝って流れていくため壁に汚れが付着するのです。壁上部以外にも天井部から雨どいの部分や、窓枠の部分、会社名など壁に設置された文字盤などからも付着した汚れが雨水と共に壁に流れ出して壁を汚してしまいます。

日本では、例えば窓枠の部分には水切りを設置して、窓枠の汚れを含んだ水が直接壁に触れないようにされています。ところがベトナムでは、そもそも水切りを設置していなかったり、水切りを設置していても施工業者が用途を理解していないために、コーキングの打ち方を間違えて全く意味をなしていないものなどが普通に見られます。



雨垂れの汚れ ①



雨垂れの汚れ ②

また、会社名、ロゴなどの文字は、壁に直接接着してしまうと、雨の時に汚れた水が直接壁に流れてしまいますので、壁から少し浮かせるなどの対策が必要です。

天井の雨どいについても、傾斜の角度を間違えていると汚れた水が全て外壁を伝って流れてしまいますので、壁に水を伝わらせないことを意識した施工が必要です。

●外壁チェック

外壁の汚れとなる原因は、上記の説明の通りです。これらの状況はある程度目視でもチェックが可能です。窓枠の下から黒い雨垂れの筋が出ていないか？外壁に黒い汚れの筋が出ていないか？その水はどこから流れてきているのか？などを確認することで、対応策も考えられるようになります。折角綺麗に塗装した外壁を少しでも長持ちさせる為にも、是非、水の流れをチェックしてみてください。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回、壁のメンテナンス(後編)をお伝えします。
次回も、楽しみに!!

工場の外壁・内壁・床・天井・屋根の塗装無料検査します！

- 無料検査
- 高い診断能力
- 養生・清掃も徹底
- 最大3年保証
- 優れた塗装技術
- 日本人が監修